

## 平成 24 年度 第 1 回三条市食育推進及び農業振興審議会会議録

- 1 日 時 平成 24 年 5 月 30 日(水) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
- 2 会 場 三条市役所 2 階 大会議室南側
- 3 協議題  
議題  
(1) 副会長の選任  
(2) 第 2 次三条市農業活性化プラン策定について
- 4 報告事項  
(1) 三条市農業活性化プラン指標進捗状況  
(2) 第 2 次三条市食育推進計画指標進捗状況  
(3) 平成 24 年度 三条市農業活性化プラン実施計画一覧  
(4) 平成 24 年度 第 2 次三条市食育推進計画実施計画一覧
- 5 出席状況  
(1) 出席委員  
粟生田委員、上村委員、坂井委員、皆川委員、小林(茂)委員、外山委員、豊岡委員  
星野委員、渡邊委員、青木委員、岩崎委員、小林(武)委員、六原委員  
(2) 欠席委員  
樋口委員、五十嵐委員  
(3) 事務局職員  
渡辺福祉保健部長  
長谷川経済部長  
健康づくり課 捧主幹、田村室長、大泉技師、木津期限付任用職員  
農林課 大山課長、山村課長補佐、板垣室長、平岡係長  
(4) 傍聴者 なし  
(5) 報道機関 なし
- 6 開 会

粟生田会長	委嘱状の交付 (渡辺部長より新規委員の坂井委員、青木委員、岩崎委員に委嘱状を交付)  職員紹介 異動に伴う農林課職員の紹介  ただ今から、平成 24 年度第 1 回三条市食育推進及び農業振興審議会を開催いたします。 本日の出席は、定員 15 人のところ、出席 13 人、欠席 2 人で定員の過半数の出席
-------	--

	<p>であり、三条市食育推進及び農業振興審議会規則第3条の2に基づき、会議が成立しております。</p>
栗生田会長	<p>それでは次第に基づき議事を進めさせていただきます。</p> <p>議題(1)「副会長の選出」です。前任が退職されたことから、新たに選出が必要です。副会長の選出については審議会規則第2条により、委員の互選によるとなっておりますが、前回も会長からの指名とさせていただきました。今回も同じように進めさせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p> <p>では、副会長は岩崎委員にお願いしたいと考えております。いかがでしょうか。</p> <p>(委員の拍手)</p> <p>岩崎委員に副会長をお願いいたします。</p> <p>(岩崎委員、副会長席へ移動)</p>
岩崎副会長	<p>小中学校校長会の岩崎です。栄北小学校に勤務しています。不慣れではありますが、会長を助けていきたいと思っております。よろしく申し上げます。</p>
栗生田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして議題(2)「第2次三条市農業活性化プラン策定について」事務局の説明を求めます。</p>
山村課長補佐	<p>議題(2)について説明させていただきます。</p> <p>(資料No.1～3を山村課長補佐、資料No.4を板垣室長が説明)</p>
栗生田会長	<p>「第2次三条市農業活性化プランについて」質疑がありましたら、ご発言をお願いします。</p>
小林(武)委員	<p>資料は良いと思いますが、資料No.4の2ページ、「紅コロ」は三条の特産品にまだなっていないという説明でしたが、今後特産にすべき商品だと思います。また、学校給食には出しているのでしょうか。</p>
田村室長	<p>学校給食について、試したことはありますが、食数が多いこともあり、継続しては出していません。</p>
小林(武)委員	<p>将来、三条の特産にして、小中学校生徒に出せば地産地消になりますし、多くの数が出るので、ぜひ将来実現してもらいたいと思います。</p> <p>もう一つ、16ページ中ほどに環境保全型農業とありますが、堆肥を良くすれば農産物が良くなります。しかし、農家も人手不足のため、堆肥は手間がかかって大変</p>

	<p>です。機械で撒けるようにペレット状態にすることも考えてもらいたいと思います。みんなが使えるようになれば有機栽培普及に貢献できると思いますし、化学肥料が減っていくのに繋がると思います。ただ、価格が問題だと思っています。</p>
山村課長補佐	<p>堆肥の関係でご意見いただきましたが、堆肥化センターで給食残渣等を用いて作成中で、量的には少ないですが、商品化には至っています。扱いという面では、粉状で扱いにくい現状ですが、ご意見をいただきましたので前向きに検討させていただきたいと思います。</p>
粟生田会長	<p>散布のしやすさが普及に直結しますので、前向きに検討ください。</p>
小林(茂)委員	<p>ペレット化もそうですが、散布する機械が高価なので農家1軒では購入できません。畑全面に散布するのに使うマニアスプレッダーは100万円近くするので、貸し出しの準備をしていただけると簡単に撒けるようになるのでお願いしたいです。</p> <p>以前、三条市でどじょうを給食に提供していたかと思うのですが、現状はどのようなになっているのでしょうか。</p>
田村室長	<p>まず、先ほどのさつまいもの件ですが、コロッケとしては多くは使えていませんが、さつまいも料理として、かなりの量を保育所や学校で使っています。</p> <p>また、どじょうについてですが、今年度も供給が間に合えば使用したいと考えています。しかし、量的にかなり少ないので、昨年も大半が保育所で使用していました。今年度も保育所で使う方向で考えています。</p>
小林(茂)委員	<p>取り組まれている方が少ないのでしょうか。</p>
板垣室長	<p>どじょうプロジェクトとして5人程いましたが、高齢化等により現在は2人となっています。</p>
山村課長補佐	<p>先ほど堆肥散布の機械貸し出しについての話がありましたが、後ほど確認させていただきます。</p>
坂井委員	<p>堆肥について質問ですが、農家が法人化していることもあり、たくさんで出る粃殻は、処理しきれない現状があります。有効に使うために堆肥にして、機械を使い散布したなら安全安心な野菜作り、米づくりに貢献できると思います。</p>
大山課長	<p>堆肥の関係でございしますが、下水処理センター隣に汚泥再生処理センターがございします。そこでは堆肥を販売しておりまして、1キロで100円となっています。粃殻と混ぜてどうかという話に至っていませんが、粃殻処理に困っている中で対応で</p>

	<p>きるかも含めて検討していきたいと考えています。</p>
<p>栗生田会長</p>	<p>現在は汚泥と籾殻を混ぜて堆肥化することについて問題が生じる可能性がありますので確認をしながら進めてください。</p>
<p>大山課長</p>	<p>現在はトイレの汲み取り物に対して堆肥化しているので、処理について籾殻を混ぜても問題が無いか関係課と確認をしていきたいと思ひます。</p>
<p>六原委員</p>	<p>実際、堆肥が販売されていることを生産者は知っているのでしょうか。また給食残渣を使って堆肥を作っているとか、堆肥を使うことによって野菜がおいしくなるとか、たくさん収穫できるということが分かるような宣伝をすると良いと思ひます。</p> <p>もう一つ、越後といえば新潟、新潟といえば米というように、三条だけではイメージしにくいことも、「越後新潟三条」などネーミングにも配慮すると消費者はイメージしやすいかと思ひます。</p>
<p>大山課長</p>	<p>堆肥化施設は稼動したばかりですので、量は承知しておりませんが、ある程度量が生産できるようになればピーアールを考えていくことになると思ひます。その堆肥が作物にどのような効果があるかも検証しなくてはいけないと思ひます。まずは量がどのくらい出ているか確認させていただいた中で、ピーアールの検討をしていきたいと思ひます。</p>
<p>長谷川部長</p>	<p>先ほど坂井委員から籾殻活用についてのご意見がありましたが、堆肥センターでは年間200ヘクタール位の籾殻を利用することになっておりまして、20分の1が再利用できると考えております。</p> <p>堆肥ピーアールの関係ですが、堆肥化センターや、汚泥再生処理センターの堆肥については広報さんじょうやホームページで広報させていただきましたが、確かに十分ではないかと思ひますので、主管課と協議していきたいと考えています。</p> <p>また、ピーアールという面で、「燕三条」ということでは知名度は高くなってきていると考えております。先日テレビで“がっちりマンデー”をご覧になられた方もいらっしゃるかと思ひますが、燕三条の職人が紹介されておりましたし、“朝カフェ”も始まります。燕三条を切り口にピーアールする必要があると考えております。</p> <p>下田につきましては現在、漢学の里において土日休日に直売所を開催していますが、今年度常設の直売所を建設する予定でおります。レストランもリニューアルさせていただき、地産地消にこだわったメニュー展開を考えております。八十里越が開通すれば、福島との窓口になりますので、ピーアールに取り組んでいきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。</p>

星野委員	<p>先ほどの特産品の話ですが、地場産は立地が良く、観光バスも良く通るのでそこで商品を販売すると特産品になるのではないのでしょうか。</p> <p>また、堆肥のことについて、畑に関して堆肥を使うのと使わないのとで差別化はできているかと思います。収穫物の比重が違うなどがあるのでしょうか。</p>
長谷川部長	<p>私から特産品に関してお答えいたします。資料No.4の2ページで特産品として定着しつつあると記載してありますが、下田産のさつまいもでありますので、下田地域では定着しつつあると考えております。三条地区や栄地区まで広がりを持って“三条の特産品である”という認識があるかということ、まだかと思しますので、関係課と連携してピーアールを検討していきたいと思っております。</p> <p>その中で地場産内のレストラン活用の話も出ております。昨日、地場産の理事会が開催されました。そこでの会議中に出た話ですが、地産地消メニューが提供されることがあり、非常に好評で、お昼には売り切れることもあるそうです。しっかりと量を確保して提供すると良いのではという意見がありました。そのような中で「紅コロ」も活用できるのか検討していきたいと思っております。</p>
板垣室長	<p>堆肥による野菜の差別化についてですが、野菜は比重が大きく、実がしまっているということが分かっています。確かに品質は違ってきています。また堆肥の使い方の提案も必要だと考えています。</p>
外山委員	<p>「紅コロ」について、下田では普及しているようですが、他の地域にはなかなか普及していません。三条市民一人一人が知っていて誰でも話せる状態になっていると良いと思います。資料No.3の上の方に出ていますが、“これまでは消費者からの視点が決定的に不足していた”とありますが、生産者ががんばっていることが消費者に伝わってこない現状があります。有機栽培米を作るには、隣と10メートルは空ける必要があると最近知ったのですが、もっと三条市の農家ががんばっていることを知らせることが大切だと思います。チャンスがあれば三条まんま塾の講演会等行きますが、情報を流すといっても、パソコン等を使えない方もいらっしゃいますので、ピーアール方法を工夫いただきたいと思います。“これが地場産品です”と伝えるだけでなく“三条市の農家ががんばっています”と伝えるようにしてもらいたい。</p>
小林(武)委員	<p>外山委員は三条まんま塾に入っているから、生産者のことを良くご存知ですが三条まんま塾に入ると生産者の顔が分かるようになります。消費者と生産者がよく理解し合うことが大切です。米も果樹も野菜も堆肥ほど良いものは無いです。</p>
六原委員	<p>この活性化プランは誰に向かって作られるのでしょうか。そして出来上がったもののくらいの市民が興味を持って見るのでしょうか。市民が見て、理解するには難</p>

山村課長補佐	<p>しい言葉も多くて分かりにくいです。市民が納得できる文章のほうが良いと思います。</p> <p>分かりにくい言葉については注釈をつけたいと考えています。また、概要版も考えていかななくてはならないですし、その中で分かりやすい表現や広報の手法を検討していきたいと思います。</p> <p>また、先ほどのご意見にありました地産地消について市民に向けた取組が不足しているということについてですが、これまでのプランには言葉として足りない部分がありましたので、第2次ではしっかり三条市民としての役割を明確にしたいと思います。また、食と農を繋げるという意味でこのプランが必要になってきますので効果的な広報についてもプラン策定の中で検討していきたいと考えています。</p>
小林(武)委員	<p>農家でないと安全な野菜かどうか分かりません。化学肥料を使えば作物がたくさんとれて良いですが、消費者や環境のことを考えると化学肥料でなく、堆肥を使うことが大切だと思います。また、県央地域はピーアールしなくてもこれまで生きてこられたと思いますが、ロコミは大きな効果があると思うので、横浜や荒川の子供たちとの交流は続けてもらいたいと思います。</p>
坂井委員	<p>横浜や荒川の小学校と交流し、販路拡大を行っているということですが、子供たちが成長してからまた三条の米はおいしかったというロコミで広がるのが期待できます。私も神奈川県の子供と田んぼを通して交流したことがありました。やはり子供にとっては体験した思い出は残っているもので、交流は非常に大事だと思います。農業体験はぜひ続けていただきたいと思います。</p>
山村課長補佐	<p>平成21年から続いている荒川区との交流は販路拡大とともに、三条産は安全でおいしいということをピーアールしたいということもありまして、稲刈り農業体験だけでなく、こちらから出向いていくこともあります。また、販路拡大ということでは、今年度から荒川区で1校、新規で増えることになりました。経緯としましては、今まで三条産米を採用していた学校の校長先生が異動され、その先の学校でも是非子供たちに食べさせたいということがあり、その様な形で広がっています。</p>
栗生田会長	<p>それでは、他に質疑がなければ、議題について意見をお願いします。</p> <p>(しばらくしてなし)</p> <p>議題について、事務局案として進めることでご異議ありませんか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、事務局はこのまま進めてください。</p>
栗生田会長	<p>次に報告事項(1)「三条市農業活性化プラン指標進捗状況」について事務局の説</p>

	明を求めます。
山村課長補佐	(資料No.5について説明)
栗生田会長	「三条市農業活性化プラン指標進捗状況」について質問も含めてご発言をお願いします。
豊岡委員	海外販売はどこどの国にどのような品物を販売したのでしょうか。東日本大震災の影響もあると思いますが、自分で開拓したのかどうなのか教えてください。
山村課長補佐	海外販売について、実際は中国の香港経由で、個人で行っているものです。品目については米です。
豊岡委員	どのくらいの量なのでしょう。
山村課長補佐	具体的な数量については、後ほど確認させていただきます。東日本大震災の影響もありますが、香港については開かれたままの状況となっています。
栗生田会長	それでは、他になければ、以上で質疑を終了させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。
	(異議なし)
栗生田会長	異議なしと認め、質疑を終了いたします。
栗生田会長	報告事項(2)「第2次三条市食育推進計画指標進捗状況」について事務局の説明を求めます。
大泉技師	(資料No.6について説明)
栗生田会長	「第2次三条市食育推進計画指標進捗状況」について質問も含めてご発言をお願いします。
小林(茂)委員	インショップ売上額について、計画策定時には7,240万円ですが、昨年度は16,963万円と伸びていますが背景には何があるのでしょうか。出荷する生産者が増えたのでしょうか。
田村室長	計画策定時の調査対象は5業者だったのに対し、23年度調査では6業者になりました。実質の伸び率は明確ではありませんが、地産地消コーナーが増えている印象

	はあります。
栗生田会長	<p>それでは、他になければ、以上で質疑を終了させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議なしと認め、質疑を終了いたします。</p>
栗生田会長	報告事項(3)「平成24年度 三条市農業活性化プラン実施計画一覧」について事務局の説明を求めます。
山村課長補佐	(資料No.7について説明、ピッキングセンターについては板垣室長説明)
栗生田会長	「平成24年度 三条市農業活性化プラン実施計画一覧」について質問も含めてご発言をお願いします。
小林(武)委員	資料4ページの農業担い手の確保について、認定農業者数が480から477に目標が減少している理由は何でしょうか。
山村課長補佐	数の上では減少しているのは事実ですが、経営感覚をもった農業者は増えてきていると思いますので、数は減っていますが、質は上がっていると考えています。
小林(武)委員	若い農業者を育成してもらいたいのので、さらに力を入れて努力いただきたいと思います。
山村課長補佐	ただ今の件につきまして、後継者がいないのは農業に魅力を感じないからではないか、その魅力は所得ではないかと考えておりますので、農業の活性化のためには何が必要なのかを第2次活性化プランの中で検討していきたいと考えています。
渡邊委員	私事ですが、今年になって親の具合が悪くなり、農業を手伝わなくてはいけなくなりました。これまで収穫はしたことがありましたが、畑を耕すところから全部してみると、こんなに大変だったかのかと実感しました。今までやっていたつもりでも、自分でやってみると大変でした。担い手育成については、多く情報発信していただけると分からない人もできるようになると思います。
山村課長補佐	農業に関する相談体制については今後検討していきたいと思います。
渡邊委員	どこで教えてもらおうと良いのかが分からないので、市で農業を知っている方を紹介してもらえると良いと思いました。



山村課長補佐	農業の経営等につきましては三条地域振興局に普及センターがありまして、相談することができますのでよろしくをお願いします。
栗生田委員	<p>それでは、他になれば、以上で質疑を終了させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議なしと認め、質疑を終了いたします。</p>
栗生田会長	報告事項(4)「平成 24 年度 第 2 次三条市食育推進計画実施計画一覧」について事務局の説明を求めます。
大泉技師	(資料No.8 について説明)
栗生田会長	「平成 24 年度 第 2 次三条市食育推進計画実施計画一覧」について質問も含めてご発言をお願いします。
小林(茂)委員	食育メールについて、病医院や銀行に設置するのも良いですが、わざわざそこまで行くかというと思うので、メルマガのようにアドレスを登録する形をとった方が良いのではないのでしょうか。
田村室長	現在は各学校や保育所に定期的に送付していきまして、保育所ではそれを活用したお便りを出していただいております。その他に、インターネットを使えないような人でも見られるようにということで、印刷物を広報に挟めることも考えましたが、コストの関係で人が多く集まる場面に置かせてもらうことにしました。今年度は病医院だけでなく、郵便局や金融機関にも設置を考えています。
小林(茂)委員	印刷物はそれで良いのですが、メルマガで届いたほうが見やすいかと思しますので、活用された方が良いと思います。
豊岡委員	<p>孫が保育所に通っていきまして、毎月 1 回の給食だよりを見ていますが、食育に力を入れていることが分かります。</p> <p>三条市は子育てに関して施設が少ない印象があります。燕市には交通公園など遊具がある施設が多い。若いお母さんからも三条は施設がないと話を聞いています。すまいるランドは 3 歳くらいまでが対象ですので、物足りなくなるようです。若いお母さんたちが三条市に住みたいというような環境を作ることが大切だと思います。</p>

渡辺部長	<p>すまいるランドは現在、好評を得ておりまして、若いお母さんの間で交流の場、仲間作りの場になっていると聞いています。今後、少子高齢化が進むにつれて施設整備も必要になるかと思えます。子育てについては教育委員会が取組を行っていますが、福祉保健部としても食育との絡みがありますので、情報共有しながら進めていきたいと思えます。</p>
青木委員	<p>子育て世代の食育は大事なところと考えています。県としても私立幼稚園に向けて食育の取組を行う予定ですので、よろしくお願いします。</p>
皆川委員	<p>食育メールについては、内容が良いので、一般の人に見てもらいたいと思っていました。広報さんじょうに印刷物を挟むことも考えていただいたようですが、予算の関係で難しいと聞きました。子供をもつ家庭だけでなく、誰でも見られるように、スーパーや銀行や郵便局に置いていただき、好きな人は持って帰れるようにすると良いと思えます。三条市はたくさんの事業を実施している中で、栄養士会としても在宅給食サービスや栄養口腔講座、三条まんま塾で協力させていただいているのですが、目標値があるのであれば、数値が良くなるように取組をしていきたいと思えます。</p>
栗生田会長	<p>それでは、他になければ、以上で質疑を終了させていただきたいと思えますがいかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議なしと認め、質疑を終了いたします。</p> <p>以上で本日用意した内容はすべて終了しました。</p> <p>これで平成 24 年度 第 1 回三条市食育推進及び農業振興審議会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。</p>

7 閉 会 (午後 3 時 3 0 分)